

教科目名 公園緑地計画 (Landscape Planning)

学科名・学年 : 土木工学科 5年

単位数など : 選択 1単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教官 : 幡東孝則

授業の概要		
公園緑地の種類や必要性及び公園緑地計画における現状や問題点について学習し、それらの知識を活用した緑地計画の演習を行い、計画の基本的な方針や計画手法の習得を目標とする。 講義は受講対象者をグループ分けし、各グループ毎に色々な課題について議論し、発表の方法はワークショップタイプで進める。		
到達目標		大分高専目標 (B2), JABEE 目標(d1)
(1) 緑地の効用を理解する。 (2) 緑地の種類を理解する。 (3) 緑地計画の手法を理解する。		
回	授 業 項 目	内 容
1,2 3 4,5 6	第1章 緑地の概要 1 - 1 緑の効用 1 - 2 緑地の種類 1 - 3 緑化の目的 1 - 4 実 習	(1)都市における緑の効用について学習。 (2)公園緑地の分類とその種類について学習。 (3)緑化の機能と種類について学習。 (4)緑化の機能と種類の応用実施
7 8 9 10 11~13	第2章 緑地の計画手法 2 - 1 基本方針 2 - 2 動線計画 2 - 3 ゾーニング 2 - 4 施設計画など 第3章 公園緑地の実習	緑地計画の手法について学習。(計画を進めるにあたっての調査や現況分析, 計画の方針及び計画についての概論及びバリエーションのあり方などについて学習) 演習を通して緑地計画の目的(基本方針や手法, 施設計画やゾーニングなど)について具体的に学習する。また, 最近の緑化手法(ヒオトープや屋上緑化・壁面緑化など)の情報を織り交ぜながら, 幅広い緑地計画の知識を習得する。
14	前期期末試験	
15	前期期末試験の解答と解説	自身の理解力を分析し, わからなかった部分を理解する
履修上の注意	授業は身近な緑化や緑地等について学習し, 学習した内容を活かして緑地計画の実習を行うが, 実習時には, 時間内でグループの実習内容をまとめ, 結果を発表するため, 短時間にグループ全体の意見を把握し, 要約する必要がある。また, 最終時間には, 各グループの実習成果を発表し, 討論する。	
教科書	なし	
参考図書	計画と設計の実際(公共造園編)・造園ハンドブック他。	
関連科目		
評価方法	演習課題(20%)と前期期末試験(80%)により評価を行う。演習課題はグループ作成による図面を学生全員により討議し合い, その討議の内容や発言回数について採点する。また, 前期期末試験は学習した内容から課題を出し, レポートとしてまとめたものを採点する。尚, 授業態度を考慮し, 総合評価点からその20%を上限として減点する。	